

ContactXML 部会 現状の活動報告

2003年5月26日

XMLコンソーシアムContactXML部会

リーダー 吉政 忠志



ContactXML部会とは (1)

- 目的

- ・ ContactXML仕様に関する開発・制定・情報公開・情報交換等の活動を通じContactXML仕様の普及・啓蒙活動を行う
- ・ ContactXML仕様を活用したビジネスへのマーケティングによる後方支援を行う

ContactXML部会とは (2)

- 活動内容

- ・ ContactXML仕様の開発・制定・標準化
- ・ ContactXMLの適用研究・事例収集
- ・ ContactXML仕様に関する情報の収集、交換ならびに提供を行う場としての部会運営
- ・ HR-XMLなど、国内外の他コンソーシアムとの連携協力
- ・ その他、ContactXML仕様の普及・啓蒙活動全般

ContactXML部会とは (3)

●参加資格

本会の会員はContactXML仕様の普及を推進するという目的のもとに、XMLビジネスに関わり、かつXMLコンソーシアムに加入している有志法人もしくは団体とする。

ContactXML 関連セミナー

- **第1回ContactXML研究会**
 - 2002年1月24日開催
 - 参加者70名強
- **XMLコンソーシアムWEEK**
 - 2002年5月30日開催
 - 参加者120名強
- **第3回XMLコンソーシアムDAY**
 - 2002年11月8日
 - 参加者約100名



ContactXML部会参加メンバー

- アイフォー
- アグレックス
- インフォテリア
- エニイ
- クレオ
- コンピューターソフトサービス
- システムポート
- ジャストシステム
- セイコープレジジョン
- 総合オフィスサポート
- 日本ライセンスバンク
- 日立製作所
- PFU
- 富士インフォックス・ネット
- 富士ソフトABC
- ブ레인セラーズ・ドットコム
- マイクロソフト
- ミノルタ
- 郵政事業庁
- リコーシステム開発

2003年3月現在
計20社・団体

ContactXML 関連プレスリリース

- 2001/12/12
 - イーブリッジ、インフォテリア、クレオの3社がコンタクト情報の記述・交換の標準仕様『ContactXML』を開発
- 2002/01/24
 - エニイ、インフォテリアの技術協力のもと『ContactXML』対応のデータ変換サービスをスタート
- 2002/04/02
 - 宛名書きソフト「宛名職人」、「筆王」、「筆ぐるめ」、「筆まめ」、およびアドレス変換ソフト「アドレスステーション」が業界標準のフォーマットとして『ContactXML』を採用

ContactXML 関連プレスリリース

- 2002/08/27
 - クレオ、はがき印刷ソフト「筆まめVer.13」新版、ContactXMLに対応



- 2002/10/01
 - XMLコンソーシアム、初の標準化としてContactXML Version1.1を勧告

ContactXML 関連プレスリリース

- 2003/03/04
 - XMLコンソーシアム、国連専門機関Universal Postal Unionが提唱するIPACT (XMLによる諸国間での郵便情報の標準化) の国内適用研究を目的としたIPACT WGを設立

その他：今後の活動

- ContactXMLユーザー会
 - 実装のためのチェック機能の提供。情報共有、ソリューションリストの作成
 - 2003年4月発足に向けて準備中
- ContactXML Version1.1a (仮称) の発表 (Version1.1の正誤表をマージしたバージョン)

IPACT_WG 活動報告

IPACT

- IPACT: International Postal address Component and Template
- 国連の専門機関であるUPU (Universal Postal Union) が提唱する諸国間での郵便情報のXML標準フォーマットです。
- 現在、DRAFT版が一部のUPU加盟国に提示され、各国の住所構造に適合できるかをテストを行っている。
- UPUとは

UPU (Universal Postal Union : <http://www.upu.int/>) とは郵便業務の効果的運営によって諸国間の通信連絡を増進し、文化、社会及び経済の分野における国際協力に寄与することを目的に1874年10月9日、国際郵便条約（ベルヌ条約）によって設立された国連の専門機関である。加盟国は280カ国。

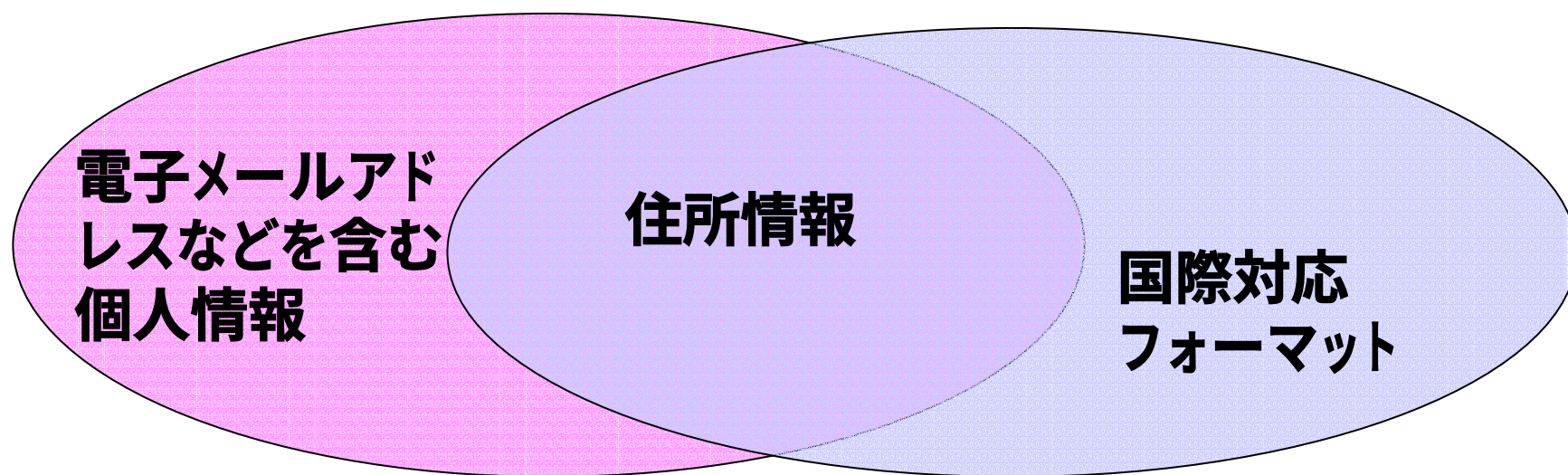
IPACTの目的

- 宛名コンポーネント
郵便宛名の論理的コンポーネントと、これらを使用して郵便宛名を構成する方法の定義
- 宛名の物理的表記
郵便物への郵便宛名の印刷方法（国ごとの）
- 宛名データの電子交換とデジタル表記
コンピュータシステム同士の宛名データ交換で使用する手続き及びシンタックス
- 宛名データの妥当性確認
郵便宛名が正確であることを検査するための（国ごとの）規則及び手続き
- 行型宛名表記からの宛名コンポーネント抽出
印刷された宛名の解釈、及びそこからの宛名コンポーネントの抽出

ContactXMLとIPACT

ContactXMLの対象範囲

IPACTの対象範囲



IPACT_WGの活動内容とは

- IPACTの日本国住所適用を研究するだけでなく、既にXMLコンソーシアムによって勧告した、宛名書きソフト及びアドレス変換ソフトの国内業界標準のデータ・フォーマットである「ContactXML」との整合性も研究します。
- この研究結果を郵政事業庁を通じUPUに、またXMLコンソーシアムにレポートすることにより、より民間レベルも含めた日本国と諸国間での郵便情報の交換をよりスムーズに行うことを目的としております。

今後の予定

- IPACT WGは2003年1月から活動を開始し、IPACTの日本国住所適用状況を研究しております。
- 今後、ContactXMLとの整合性のとり方などについて検討を行っていく予定です。
- 今期の具体的活動内容に関しては、現在検討中とさせていただきます。

■■お知らせ■■
ホームページが下記の通り移転しました。

= ContactXML部会 =

http://www.xmlconsortium.org/bukai/contact_kastudou.html

= ContactXMLユーザー会 =

<http://www.contactxml.org/>

ご質問・ご連絡はこちら：
Office@ContactXML.org